としょのかぜ

宇部市立藤山小学校
図書だより
令和８年 ８月 第５号

心にしみる絵本特集

葉っぱのフレディは春から夏にかけて幸せいっぱい。枝はしなやか、見はらしは良いそしてたくさんの友達にも恵まれ･･･。

秋になり風が変わる頃になると風に葉っぱは巻き上げられ、次々に落ちていきます･･･。

フレディは落ちていくのがこわくてたまりません。最後まで枝に残ったフレディはどうなるのでしょう。葉っぱの一生と命について考えさせられる一冊です。

葉っぱのフレディーいのちの旅―/レオ・バスカーリア作みらいなな訳/童話社

夏の終わりに･･･奥深い一冊

男の子はりんごの木が大好き。かくれんぼしたり、枝にぶらさがったり。りんごの木も男の子が大好き。りんごの木はいつまでも男の子といたかったのだけど･･･。男の子は大きくなり、りんごの木の所へ行かなくなりました。

たまに来る男の子は、「お金がない。」とりんごの木の前でつぶやきます。りんごの木は「自分の実を売ってお金にすれば良い。」と言います。

男の子は幸せになれるのでしょうか。

おおきな木/シェル・シルヴァスタイン作/篠崎書林

あかおには村人に恐れられる存在です。本当は人間と仲良くなりたいのになかなか思いは通じません。

あかおにはあおおにに相談します。するとあおおには「自分が悪者になるから君がぼくを退治する役をすれば良い。」と提案します。 あかおには真の友情を手に入れられるのでしょうか。

ないたあかおに/はまだひろすけ/偕成社

ほっと一息コラム

学校図書館の歴史　～佐野友三郎～

戦前の山口県は、「図書館王国」と呼ばれるほどに図書館の普及が著しかったと言われています。1920 年まで山口県立図書館の館長を務めた**佐野友三郎**の指導力が影響していて、友三郎は学校図書館に強い関心を抱いていました。

アメリカに図書館の視察に行き、学校に図書館が必要なことと、子どもに対して図書館利用法を教授できる教師の養成を急務だと考えました。

（出典： 日本図書館協会編(1993)『近代日本図書館の歩み 本篇』Ⅳ 日本図書館協会 pp.351-358）